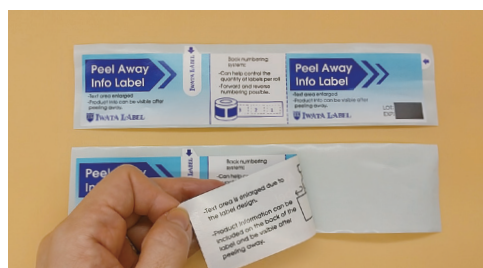


株式会社岩田レーベル

IWATA GREEN SYSTEM を通じて産業廃棄物から日用品へ



製造されたペーパータオル



タックラベル

業界の垣根を越えた協力で、  
業界唯一のセパレーターリサイクルシステムを構築

株式会社岩田レーベルは、医療現場で求められる安心で安全なタックラベルやラベル貼り機を製造している。このタックラベルは、ラベルの台紙部分であるセパレーター（剥離紙）が残る構造であり、廃棄物になってしまう。環境配慮が謳われる中、セパレーターの廃棄による将来的な環境負担を考え、2000年頃から「IWATA GREEN SYSTEM」を通じてセパレーターのリサイクルを行う取組を開始した。

「IWATA GREEN SYSTEM」は、顧客へ納入したタックラベルのセパレーターを回収し、製紙会社に再生加工を委託することで、ペーパータオルの一部として生まれ変わらせるという仕組みだ。製造されたペーパータオルは顧客への販売や社内利用しており、社員の環境に対する意識向上にもつながっている。セパレーターは年間約12万トンもの量を回収しており、環境配慮のみならず顧客の産業廃棄物処理という負担軽減にも役立っている。

しかし、システムの導入までの道りは簡単なものではなく、委託可能な製紙会社との契約や回収スキームを実現させるまでには、セパレーターから紙とニスとを分離することが可能な協力会社を探すなど、相当の苦労があった。環境配慮システム構築には業界の垣根を越えた相互協力が必要であることを実感した。

現在、ラベルメーカーでリサイクルシステムを構築しているのは、岩田レーベルだけである。これからの地球環境のためにも、リサイクルシステムを展開させ、企業間の連携だけでなく、業界全体としてのつながりを強くすることが、より必要不可欠なものになってくると考えている。

企業担当者の想い

セパレーターは、粘着剤を保護する役割がありますが、ゴミになってしまう問題を併せ持っています。20年前にその問題を少しでも解消させたいという想いで、セパレーターをリサイクルできる仕組みを構築し、今まで取り組んできましたが、現状では再生できる量には限界があり、一部に限定されたものとなっております。今後は、業界全体での取組に発展していけるよう、情報発信していければと思います。

